広報こしじ

第 16 号
新潟県三島郡
発行所 越路町役場
越路町公民館
電話来迎寺局(代)300番
印刷所 長岡市北越印刷

41年8月分の人口動態

住民登録人口 (8月末日現在)

世帯数		2,957
人口		14,966人
内訳	男	7,247人
	女	7,719人

8月の住民移動状況

出生数	6人	死亡数	18人	転入数	32人
内訳 男	4人	内訳 男	10人	内訳 男	9人
女	2人	女	8人	女	23人
転出数	27人				
内訳 男	16人				
女	11人				

総額二千万円追加
九月定例町会開かる

九月定例町議会は、去る九月二十一日招集され、農業構造改善事業費五百万円、道路橋梁改良費五百万円等、総額二千万円にのぼる一般会計補正予算案と財政調整基金の設置及び処分関係の条例等三件の条例案及び町監査委員の選任などの議案の他数件の請願案件が審議されます。

みんなが交通ルールの実践者に
秋の交通安全運動

十月十一日から二十日までの十日間全国的に秋の交通安全運動が実施されます。交通戦争や交通暴力といわれる最近、この平和な越路町にも、その文字がピッタリするようになってきました。九月二十日現在交通事故件数は昨年度を十六件もうわまわる三十八件、死者三人という状態となりました。みなさん交通事故は天災や不可抗力的なものではありません。道路交通法というルールを守らず、わき見運転や合図不履行、一時不停止、徐行するべきところを徐行しないなど、ほんのちょっとした不注意が交通事故につながるものです。越路町のみんなが模範交通実践者であるといわれるように、全町民が一体となって、一人一人が正しい交通マナーの実践者となるため、次のように各団体のご協力のもとにこの運動を強力に推進いたします。

行事の実施計画

○町、防犯組合、交通安全協会、各学校、婦人会で行うもの。
(1)黄色い羽根の配布
(2)越路中生徒による交通指導と交通量の調査
(3)関係団体員によるラッシュ時の交通指導
(4)有線放送による広報の徹底
(5)小中学生徒のポスター作成とこの街頭掲示
(6)交通安全母の会の結成指導

○警察と交通安全協会で行うもの
(1)協会々員の無事故表彰
(2)越路町各小学校生徒に対する交通教室の開催

○警察のみで行うもの
(1)道交法違反に対する指導
(2)取締の徹底

秋風のたちさわぐ毎年10月、赤い羽根共同募金が始められてから今年で20年。あたたかい小さな善意は大きな輪となって恵まれない多くの同胞に感謝されつづけてきたことと思われます。今年の当町の目標額は468,000円です。みなさま方の募金は次のような事業に配分されます。
◇児童福祉事業
◇身体障害者福祉事業
◇医療保護事業
◇老人福祉、救護事業
◇母子福祉事業
◇地域社会の福祉事業
◇県の総合的社会福祉事業

国民年金法が大改正
夫婦で1万円年金

このたび国民年金法の改正が行われ、年金額の引き上げ支給制限の緩和として保険料が引き上げられた。国民年金法に基き国民の生活水準その他いろいろのことで著しい変動が生じた場合これに応じるため少くとも五年ごとに年金額が再計算されます。このために今回の改正がなされ「夫婦月一万円」年金が実現したわけであります。

おもな改正点は次のとおりです。

拠出年金関係

①年金額の引き上げ
○老令年金 二十五年間納めた場合 現行→年二万四千円 改正→年六万円
○障害年金 最低保障額 現行→年二万四千円 改正→年六万円
○母子準母子年金 最低保障額(被扶養児二人いる場合) 現行→二万四千円 改正→六万円
○遺児年金 最低保障 現行→一万二千円 改正→三万円

②支給要件の緩和
今までは外部障害の外、内部障害については結核、精神病のみを障害範囲としておりましたが、この範囲を拡大して、外部、内部すべての障害が対象になりました。また、事後重症(初診日から三年経過した日において軽度の障害であったために障害年金はもらいなかったが、その日以後その病気の程度が重くなった者)についても障害年金の支給対象になりました。

③保険料について
これは拠出年金の年金額が大巾に引き上げられたことから、その財源となる保険料も当然引き上げなければならないためです。今回引き上げられた保険料額は次のとおりです。
○三十五歳未満は 現行→月百円 改正→月二百円
○三十五歳以上は 現行→月百五十円 改正→月二百五十円
昭和四十二年一月分の保険料から引き上げとなります。尚、四十四年一月分から更に五十円それぞれ増額されます。

福祉年金関係

①年金額の引き上げ
○老令福祉年金 現行→年一万五千六百円 改正→年一万八千円
○障害福祉年金 現行→年二万四千円 改正→年二万六千四百円
○母子、準母子福祉年金 現行→年一万八千円 改正→年二万四百円
この改正法律は昭和四十一年十一月一日より実施されています。

不幸な人にと三万円

朝日部落平沢正夫氏が御母堂の香代返しの一部三万円を町内の不幸な人へ使ってくださいと、町社会福祉協議会に寄付されました。使途につきましては歳末助け合い援護費として使用させて頂く予定です。

バイクも強制加入
今月から自動車損害賠償保険に

今まで任意加入であった原動機付き自転車(バイク)は、今月から強制加入になり、自動車損害賠償保険に入っていないと運行することができなくなりました。
準備期間として八月一日から先月末までに加入をすませなければ今月からバイクを運行できないわけです。まだおすみでない方は、急いで手続きをすませてください。具体的には、加入した保険証明書をバイクに備え付け、また、保険標章をナンバーの左上部か、そこに貼れない場合には、前部に貼らなければなりません。
いずれにせよ、これらの条件が満たされないと、運行することができませんので、必らず手続をしましょう。

西部地区(塚山)に学校給食センター

越路町西部地区の塚山小学校、東谷小学校、千塚中学校(組合立)の児童生徒七七九名に給食を行う給食センターがいろいろな事情でおくれていたが、このほど四三〇万円で小林工務店の施工で八月三十日着工した。
設置場所は塚小敷地内で完成は十一月二十五日で十二月一日より給食開始の予定となっています。

アメリカシロヒトリ
ほとんど全町に発生

今年はアメリカシロヒトリの大発生が予想され、みなさんからもこの害虫の発見防除にご協力をいただきましたが、その発生もほとんど全町に及びました。
第一化期である六月下旬より、西野地内の県道沿いのハサ木(タモ木及びクルミ)約四十本に発生がみられ、その後、神谷、浦、釜ケ島地内のタモ木、ポプラ、サクラ、やなぎなどに発生した。第二化期の八月には十楽寺、西谷方面へと侵入し、発生地域が広範囲に拡大してゆき、特に西野、泉島、飯島、篠花、中島などのハサ木、庭木に相当の被害を与えていた。
今後徹底して防除活動に当ってください。

よい子の家完成

岩塚駅前に建設中だった飯塚児童館ができ、地区住民のよろこびのうちに関係者多数の列席も得て九月五日完成式を行った。総建坪は二百m^2(約六十坪)、中には遊ぎ室(約二十七坪)、集会室、図書室などがあり、出入口も広く明るい。
九月二十日から常設保育所として運営、十月一日開館のうえよい子たちの健全育成の場として活用されるでしょう。

完成した飯塚児童館

田畑の収穫 貯金に実る

第3日曜は 家庭の日 家庭から明るい

みんなの広場 投書欄

問 町議会を傍聴したいと思いますが、いつでもよいでしょうか、また手続等はありませんか。(沢下条 一町民)

答 議会の会議は公開することがたてまいとなっています(場合により秘密会を開くことがあります)ので会議開会中であればいつでも傍聴できます。傍聴したい人は議会事務局に申し出て下さい。なお次のような傍聴人取締規則が定めてあります。
○取締上必要と認めたときは、傍聴者の住所、氏名等を聴取する他、人数を制限することがあります。
一、酒気を帯びた者、精神異状者、異様なみなりをした者、幼年者は傍聴が許可されない。
一、傍聴席では常に静粛にし帽子、オーバー、襟巻類着けたり、傘、杖等を携行してはならない。
一、互に私語したり、議員の言論に対し評論を加えたり可否等を表する行為をし議事の妨害をしてはならない。

おしらせ

■日赤三古地区に救急車
日赤社費など皆さん方からご協力をいただいておりますが、この配分として、このたび、災害救護対策のため「赤十字救急車」が配置されました。常時配置は与板市に駐在し管理されます。

■「二十一世紀の日本」の論文等の募集
国では、明治百年を記念し、きたるべき二十一世紀の理想と希望を国民に呼びかけその道標を樹立することにしようと、「二十一世紀の日本」という課題で論文、創作、音楽、作文及び図画を広く募集しています。
○論文、創作の締切日は昭和四十二年一月三十一日
○作文、図画の締切日は昭和四十一年十月三十一日
詳しくは総務課にお問い合せ下さい。

■自動車税の納期は今月末
十月は自動車税第二期分の納期です。納税は車体検査のためのものではありません。
納期限の十月三十一日までに完納をお願いします。(長岡財務事務所)

■県の木"ユキツバキ"にきまる
県の木選定審査委員会で選んだマツ、ユキツバキ、シダレヤナギの三種類から県民の投票をおこない、先月二十五日締切られた。二十七日県庁でその発表が行なわれ、県民投票総数は二万四千六百八十八票で、ユキツバキが一万五千八百二十八票と絶対多数をもって県の木"ユキツバキ"が決定した。
ユキツバキは県下に広く分布し、四月から六月の花は、各地を彩り雪に強い。庭や校庭、駅などに植えて緑化に美化に役立つことでしょう。

出かせぎのみなさん たばこはぜひ町の店から

今月の主要記事
▽国民年金法大改正
▽十月は共同募金の月
▽文化祭行事決まる
▽秋の交通安全運転実施
▽永久選挙人名簿確定
▽十月十一日役場で献血実施
▽郵便物事故は郵便局へ
▽学校紹介=中野島小学校

公民館だより

■成人者講座案内

成人該当者を対象に開設しているこの講座は、青少年に関するただ一つの講座で参加者も多く、その成果が期待されております。
現在まで、講義、野外活動、レクリエーションと広い分野にわたり六回開催しましたが十月には次の日程により開きます。参加されなかった方の参加を望みます。

○十月四日(火)午後六時半(会場 役場会議室)
「親と子の座談会」
来迎寺地区婦人会員の皆さんから「親」になってもらい、家庭内における青年の希望、問題等について座談する。
助言者 越路中学校長 小林 睦治

○十月十六日(日)
ハイキング(米山登山)
来迎寺発七時三十六分(高田行)出発。参加申込みは十月十五日まで。なお、雨天の場合は、越路中学校で球技大会に変更します。

成人者講座でのキャンプ

■若妻講座をひらきます

社会情勢の変化にともない、農村における若妻の座の重要性と必要性が感じられるとき、立場を同じくする若妻が一堂に会し、保健衛生、子供の教育、家庭レクリエーションについて研修しようとするもので、町内四カ所で開催する予定です。秋の取り入れが終了後開催希望のグループがありましたら部落分館長と協議ください。講師、研修内容は次のとおりです。

○研修内容
1家庭内における親子夫婦関係について
2保健衛生指導について
3家庭レクリエーションのあり方について

○講師
越路中学校長 小林 睦治
越路町役場 高橋保健婦
越路町教育委員会 深井社教主事

○参加対象者
1三十五歳までの若夫婦
2近いうち結婚される方

文化祭行事

スポーツと読書の秋を迎え、公民館体協・文協では次のとおり文化祭行事を開催します。皆さんの多数の参加、観戦を期待しております。なお、くわしくは公民館係まで問合せください。

○中越地区親善卓球大会
期日 十月九日(日)九時
会場 越路中学校
種目 団体戦、個人戦
参加料 団体三百円 個人五十円

○町民庭球大会
日時 十月二十三日(日)九時
会場 越路中コート
種目 中学(午前中)一般(午後)ダブルス選手権大会
(雨天の場合十一月六日)

○町民卓球大会
日時 十月三十日(日)九時
会場 千塚中学校
種目 シングルス
参加者 中学生、一般

○町民マラソン大会
日時 十一月三日(祭)九時三十分発走
コース 有料道路往復
種目 中学四千メートル 一般八千メートル シニア三千メートル

○町民歩け歩け大会
体育の日制定にもとづきスポーツにしたしみ、健康な心身をつちかうために、はじめての行事です。老若男女とわず参加ください。
日時 十一月三日(日)
コース 来迎寺、塚山出発、岩塚地区で合流、交歓会を開催。

○町民バドミントン大会
日時 十月十六日(日)
会場 塚山小学校
試合方法 年令別男女Aクラス選抜
申込方法 住所、生年月日を十月十四日まで塚山米山製作所(電話二十番)へ

○町民囲碁大会
日時 十一月六日(日)九時
会場 岩塚 魚庄

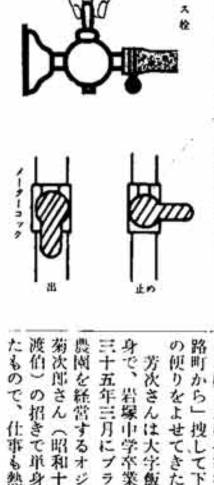
○町民将棋大会
日時 十一月十三日(日)九時
会場 越路町役場

○町民謡曲大会
日時 十一月十三日(日)九時
会場 越路町役場

以上の各種大会に参加希望者は、大会前日までに公民館係(電話三〇〇番、有線二〇〇四番)まで申込みください。実施要項をおくります。

ガスのコックは?
コックが災害の守り人

農繁期と秋の行楽で比較的気の緩みがちな時節ですが、災害防止のため、外出の時やおやすみ前にはガスメーターコックとガス栓がきちんとしまっているかもう一度、確めましょう。
× × ×



郵便物が届かないときは すぐ郵便局へ

郵便局には、郵便物の事故を調べる「一〇一号」という事故調査制度があります。郵便物が着かなかったり、中身が足りなかったりしたときは、近くの郵便局へ早目に申し出て下さい。
この制度は、書留ばかりでなく、手紙、はがき、小包など普通扱いの郵便物でも、調べられます。申し出る人は、差出人でも受取人でも結構です。料金はいっさいかかりません。
郵便局に事故の申し出がありますと、郵政監察局が調査を受け持ち、郵便物の行くえをくわしく調べます。そしてその結果、約二週間くらいで申し出たかたにお知らせします。また調査が長引くときは、途中で中間報告をしています。
信越(長野、新潟県)で差し出される郵便物は、年間約三億一千万通。その一通一通がまちがいなく届くよう、郵便局では心をこめて取り扱っていますが、たくさんの郵便物の中には、無事に届かないものも出ています。最近一年間に郵便物が届かないと申し出があって「一〇一号」の調査制度で調べたものは約三千件ありますが、その大部分は代わりの人が受け取っていた、無事に配達されていたなど、郵便物の行くえが明らかになっています。もし郵便物が届かないときは、お手数でも、ぜひ郵便局へお申し出下さい。

永久選挙人名簿確定

選挙法の改正によりすでに六月二十日現在で実施された一斉調査の資料に基づいて作製された選挙人名簿は、八月二十六日から十五日間の縦覧を経て九月三十日新しい制度の永久選挙人名簿として確定しました。
今後この永久選挙人名簿に登録されるには原則として「選挙人名簿登録申出書」を選管に提出しなければ登録されません。

登録申出をしなければならない者
①越路町に住所があり満二十歳以上となった者
②満二十歳以上で越路町に転入し住所を有することとなった者(この場合前住所地の選挙管理委員会の選挙人名簿登録(未登録)証明書を併せて提出する必要があります)

毎年三月一日と九月一日の二回、その日まで登録申出のあった者について登録資格を調査して、永久選挙人名簿に登録することになっています。
登録申出は、日曜、休日以外は何時でもできます。手続きについての詳しい事やわからない事は、選管又は役場の受付で聞いて下さい。
なお本年に限り十月十日現在で定時登録の特例として、六月二十日現在で三カ月の住所期間が足りなくて今回の永久選挙人名簿に登録されなかった者、又は九月三十日以降十月十日までの間に満二十歳以上となる者等を対象に、登録申出のあった者について追加登録されることになりますので登録資格の有る者は急いで登録申出をして下さい。

「越路町からお嫁さんを」

このほどブラジルに住む開拓青年丸山芳次さん(二五歳)=写真=からオジの大字飯塚田中芳治さんに「お嫁さんはぜひ郷里の越路町から」捜して下さいとの便りをよせてきた。
芳次さんは大字飯塚の出身で、岩塚中学卒業後昭和三十五年三月にブラジルで農園を経営するオジの内藤菊次郎さん(昭和十年五月渡伯)の招きで単身渡航したもので、仕事も熱心でその真面目さを買われて、いまではブラジル、アマゾーナス州マナオス市郊外の農園経営をまかされている好青年である。
婚期を迎えた芳次さんは、オジの内藤さんと相談、内藤さんの実兄で芳次さんのオジにあたる田中さんに頼んできたもので、飯塚の親戚のみなさんも芳次さんに「よい嫁を」と心配している。町でも壮行会を行って送り出したこの芳次さんのお嫁さんは、ぜひ町からとふさわしい娘さんを捜している。
お問合せ、連絡先は飯塚の田中芳治さん、または役場総務課にお願いいたします。

丸山芳次さん

みんなで人を救う喜びに
10月11日 午前11時 役場で献血を

人体の輸血にはどうしても人間の血液しか輸血することはできません。重い病気や大きなケガなどで苦しんでいるひとびとの貴重な生命を守るために、健康な血液を献血してください。
献血は、おたがいに助け合いの精神によって、無償で、輸血を必要とする人のために血液を提供することです。
一回の採血量は二百CCで、普通の健康状態の人はほとんど差しつかえはありません。ですから安心して献血してください。
献血された人が、不幸にして輸血が必要となったときは、健康な保存血液が優先的に還元されますので、献血は人を救うとともに自分も救われることになります。
「県民の尊い生命は、県民の血液で守りましょう」まだまだ県内では血液不足のために、死の谷間をさまよいながら愛の献血を待っている人が多くおります。
十月十一日午前十一時から、日赤の移動採血車「ゆうあい号」が役場にきて採血にあたります。ご多用のことと思いますが、ぜひご協力ねがいます。

学校紹介
中野島小学校

中野島地域のほぼ中央、人家から離れ、まわりは見わたすかぎり平らな田んぼに囲れた中に中野島小学校がある。現在五つの部落が散在し、それぞれ稲作農家が主で、ここから生産される米は千三百トン余り、越路町の総生産量の約二十パーセントに当る。例えば岩塚地区全生産量と比較しても十パーセントもうわまわる量である。このため、経済的に豊かで、環境は極めて平和で、これらがこどもっており、その影響も大きい。

中野島小学校

中野島小学校は、二つの学校が統合によって、明治三十六年九月発足したのである。
明治十五年一月外新田校附属中沢校が開かれ、その後、明治二十二年、中島、篠花、飯島、善兵衛、南島、北野、西野、中沢の各村が合併して中野島村を作った。このとき、飯島、西野、中沢にそれぞれ学校を作ることを約束したが、西野校だけしか認められず、中沢校は外新田校派出場となっていた。その後幾多の変遷を経てきたが、この二校は統合を望んでいた。たまたま明治三十五年、中沢校が火災にあいようやく翌三十六年統合し、部落の中央であるこの地に中野島小学校が発足したのである。
部落の中での学校の存在は「教育センター」的であり、部落民もその構成員であると胸を張っており、婦人学級や家庭教育学級を盛んにし、ママさん学習から料理など巾広く行っている。運動会もPTAが一緒に参加してなごやかであり、夏の臨海学校は父兄も同伴する者が多く、まことにほほえましい。
この学校は、女子児童の制服を決めている。これは、父兄からの強い要望によって決められたもので、これによって、極端なおしゃれがなくなってよい結果となっている。校庭にはバラが沢山植えてあり、いつも美しい花が咲き、こどもたちの心を励ましているようであった。

浜茶屋 六年 佐藤明美

農村のこどもは耐久力がない。それはふだんあまり走らないからで、このため発育刺戟としての運動に力を入れている。また栄養面の工夫にも力を入れ、栄養士が一人この学校にいることも幸して、今後からだづくりがなされるであろう。

音楽の時間

この学校のこどもは正直でありおとなしい。しかし自主性や積極性に欠け、発表力に弱い。これを補うため学級会における「話し合い活動」を盛んにして、話し方、話しの進め方、話題発見の工夫などを学ばせ、一方、個別学習を行い、図書を多く読ませてその感想文を発表させるなど、いろいろ努力している。全般に国語力に力を入れているようだ。
学校運営において、教室が暗く間どりが悪い。そして物置がほとんどなく、不便をきたしている。また他校には、あまり例のない運動場の上が全部教室なのである。だから二階の教室では床の板のすき間から寒い風が直接吹き上げてくるので、冬はストーブをいくらたいても教室が暖ったまらない。そしてやかましい。
この学校の教育目標は、「何事も進んでやるこども」「よく考えてねばり強く実行するこども」「ことばを正しく使うこども」「清潔で元気なこども」である。
最後に、凡なこどもを育てたい。凡にして凡にあらずで、特色のある学校がよくあるが、それがそのこどもにマッチしていればよいが、そうでないことが多い。いわゆる巾の広い、平凡なこどもを育てたいと結ばれた。(上野校長談)

児童数(九月十八日現在)

学年	児童数	学級数
一年	二八	一
二年	一九	一
三年	一四	一
四年	二五	一
五年	二二	一
六年	二九	一
合計	一三七	六

教員数 八人
栄養士 一人
用務員 一人
給食婦 一人

▽次は浦小学校を紹介します。